

ニッパン

体操日本

男子団体総合



最終鉄棒で米を逆転 連覇は逃したが

銀



男子団体総合で銀メダルを獲得した日本チーム。左から鹿島、中瀬、沖口、坂本、富田、内村の各選手＝国家体育館（共同）

あん馬の演技を行う富田洋之、坂本功貴、鹿島文博、床の演技を行う中瀬卓也、沖口誠、内村航平＝国家体育館（共同）

日刊スポーツ

NIKKAN SPORTS

2008年8月12日(平成20年) 火曜日

www.nikkansports.com

体操男子団体総合 主な成績

1位	中国	(陳、黄、李、肖、楊、鄒)	286.125点(床運動45.925、あん馬46.025、つり輪48.875、跳馬49.325、平行棒49.025、鉄棒46.950)
2位	日本	(鹿島、中瀬、沖口、坂本、富田、内村)	278.875点(45.975、45.575、46.900、46.750、47.075、46.600)
3位	米国		275.850点
4位	ドイツ		274.600点
5位	韓国		274.375点
6位	ロシア		274.300点
7位	ルーマニア		274.175点
8位	フランス		272.875点

気になる結果はケータイでもチェック!

スポーツニュース 満載!!



朝日・日刊スポーツ



日本が銀メダルを獲得した。アテネ五輪に続く連覇こそならなかったが、エース富田洋之を中心にメダルは死守した。

日本は床運動、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の順番で、中国と同組で演技。1種目の床運動では内村航平(日体大)が15・900点をマークするなど、中国からリードを奪った。しかし、苦手のあん馬で逆転を許すと、中国が得意とするつり輪で差を広げられた。3位で迎えた最終種目の鉄棒で米国を逆転し、メダルの色を銅から銀に変えた。

◇12日◇男子団体総合

日本が銀メダル



購読申込 ☎0120・81・4356 インターネットからは → 購読申込